

3 映画館

(1) 概況

～映画館数はほぼ横ばい、年間売上高・入場者数は増加～

福岡県の平成16年における映画館(スクリーン)数は141館で前回調査(平成13年)に対し2.1%減少、就業者数は783人で前回に対し9.2%増加、年間売上高は111億9百万円で同じく8.1%増加しました。

1館当たりの年間売上高は79百万円で前回調査(平成13年)に対し11.3%増加、就業者1人当たりの年間売上高は14百万円で前回と同額になりました。

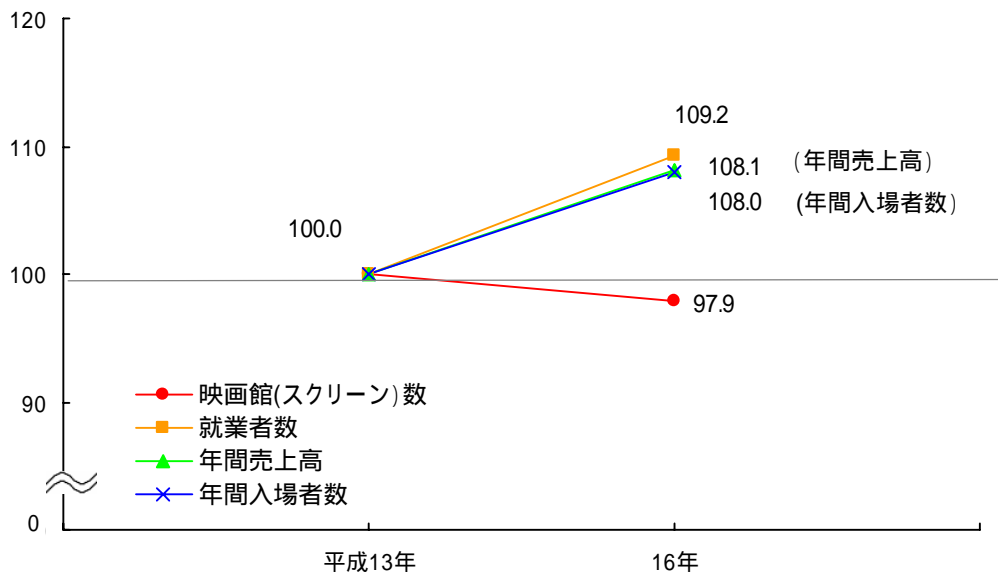
年間入場者数は729万2062人で、前回調査(平成13年)に対し8.0%増加しました。

表1 映画館数、就業者数、年間売上高等の前回比較

(単位:人、百万円)

区 分	平成13年	平成16年	前回比(%)
映画館(スクリーン)数	144	141	2.1
就業者数	717	783	9.2
年間売上高	10,277	11,109	8.1
1館(スクリーン)当たり	71	79	11.3
就業者1人当たり	14	14	0.0
年間入場者数	6,752,972	7,292,062	8.0

図1 映画館(スクリーン)数、就業者数、年間売上高等の推移
(指数:平成13年=100)



(2) 映画館数

141館、前回比 2.1%の減少

平成16年の映画館(スクリーン)数は141館で、前回に対し3館減少(前回比 2.1%減)となりました。

【座席数規模別】

映画館(スクリーン)数を座席数規模別にみると、「100席以上200席未満」規模が75館(構成比53.2%)と全体の5割超を占め、次いで「200席以上300席未満」規模が29館(同20.6%)、「100席未満」規模が19館(同13.5%)となりました。

また、前回に比べると、座席数200席以上の映画館が減少する中、座席数200席未満の映画館はわずかに増加しました。

図2 座席数規模別映画館数の構成比

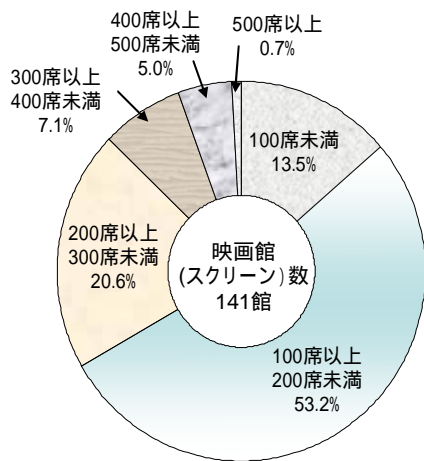


図3 座席数規模別映画館数及び前回比

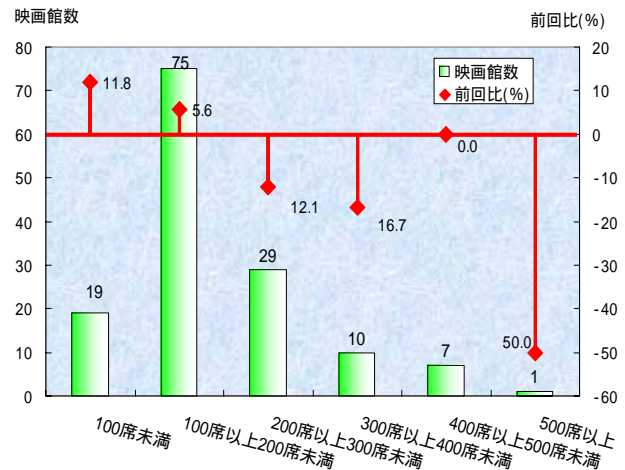


表2 座席数規模別映画館数

区 分		平成13年		平成16年		
		館数	構成比(%)	館数	構成比(%)	前回比(%)
計		144	100.0	141	100.0	2.1
座 席 数 規 模 別	100席未満	17	12.0	19	13.5	11.8
	100席以上 200席未満	71	50.0	75	53.2	5.6
	200席以上 300席未満	33	23.2	29	20.6	12.1
	300席以上 400席未満	12	8.5	10	7.1	16.7
	400席以上 500席未満	7	4.9	7	5.0	0.0
	500席以上	2	1.4	1	0.7	50.0

(注) 平成13年調査における座席数規模はドライブインシアターを除いたもので表示しています。(平成13年の合計のみ含む)

(3) 就業者数

783人、前回比9.2%の増加

平成16年の就業者数は783人で、前回に対し66人増加(前回比9.2%増)となりました。

【男女別】

就業者数を男女別にみると、「男」が318人(構成比40.6%)で前回比 8.9%の減少、「女」は465人(同59.4%)で前回比26.4%の増加となりました。

図4 男女別就業者数の構成比

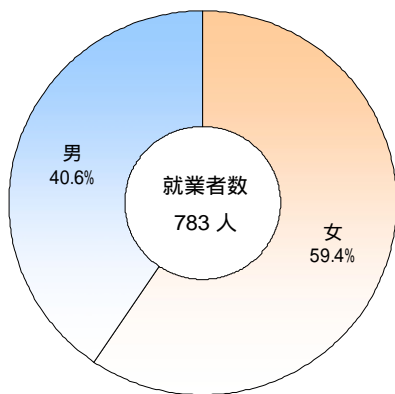
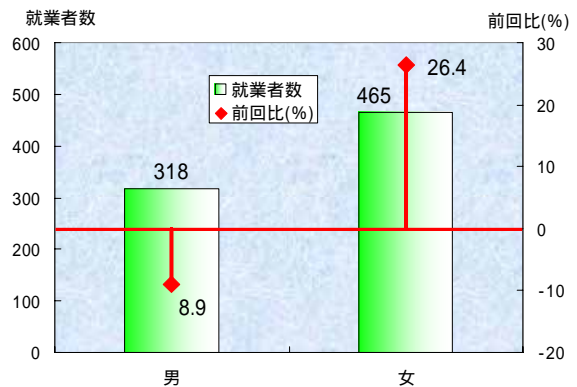


図5 男女別就業者数及び前回比



【雇用形態別】

就業者数を雇用形態別にみると、常用雇員が716人(構成比91.4%)と全体の9割超を占め、内訳は「正社員、正職員」が109人(同13.9%)、「パート・アルバイト等」が607人(同77.5%)となりました。

また、前回に比べ最も増加した雇用形態は、「臨時雇員」(34人増 前回比188.9%増)でした。

図6 雇用形態別就業者数の構成比

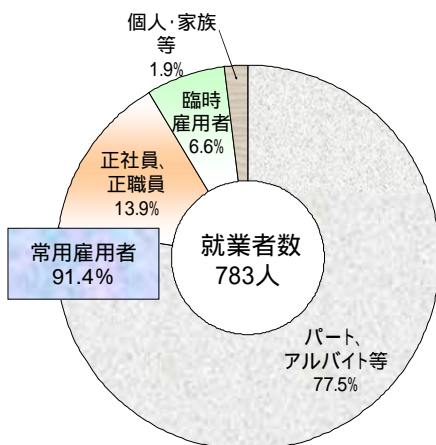
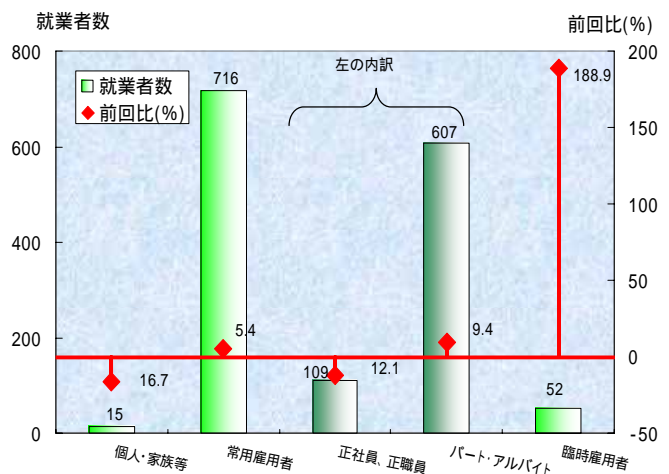


図7 雇用形態別就業者数及び前回比



【部門別】

就業者数を部門別にみると、「食堂・売店(直営)部門」が272人(構成比34.7%)と最も多く、次いで「出札・案内部門」が261人(同33.3%)と両部門で全体の7割弱を占めています。

また、前回に比べると、減少したのは「出札・案内部門」(前回比 7.4%減)のみで、それ以外の部門は全て増加しました。中でも、「食堂・売店(直営)部門」(前回比38.1%増)が最も大きく増加しました。

図8 部門別就業者数の構成比

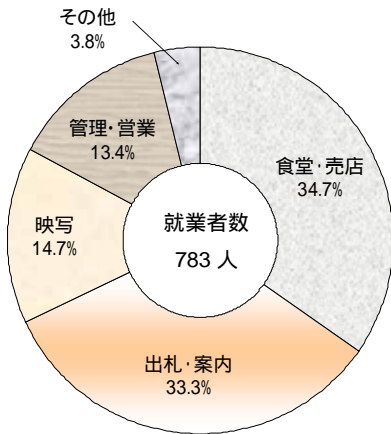


図9 部門別就業者数及び前回比

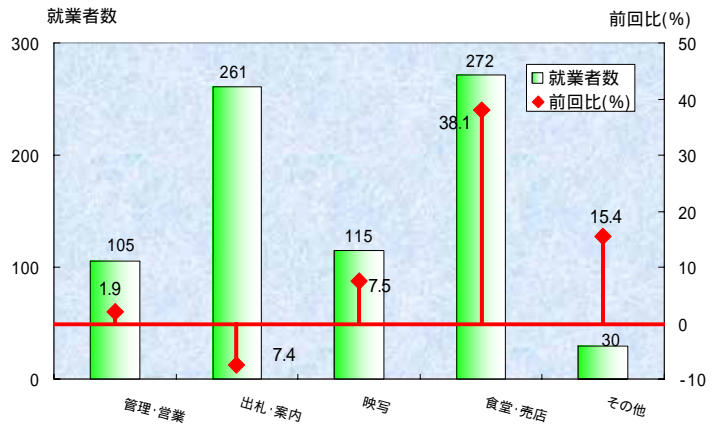


表3 男女別、雇用形態別、部門別就業者数

区 分		平成13年		平成16年		
		(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	前回比 (%)
計		717	100.0	783	100.0	9.2
男女別	男	349	48.7	318	40.6	8.9
	女	368	51.3	465	59.4	26.4
雇用形態別	個人事業主、無給家族従業者又は有給役員	18	2.5	15	1.9	16.7
	常用雇用者	679	94.7	716	91.4	5.4
	正社員、正職員	124	17.3	109	13.9	12.1
	パート・アルバイト等	555	77.4	607	77.5	9.4
	臨時雇用者	18	2.5	52	6.6	188.9
部門別	出向・派遣者(受入)	2	0.3	-	-	-
	管理・営業部門	103	14.4	105	13.4	1.9
	出札・案内部門	282	39.3	261	33.3	7.4
	映写部門	107	14.9	115	14.7	7.5
	食堂・売店(直営)	197	27.5	272	34.7	38.1
	その他	26	3.6	30	3.8	15.4
	出向・派遣者(受入)	2	0.3	-	-	-

(4) 年間売上高

111億9百万円、前回比8.1%の増加

平成16年の映画館(スクリーン)の年間売上高は111億9百万円で、前回に対し8億32百万円増加(前回比8.1%増)となりました。

【収入区分別】

年間売上高を収入区分別にみると、「入場料収入」が88億55百万円(構成比79.7%)と全体の8割弱を占め、前回比5.8%の増加となりました。

また、前回に比べると、全ての収入区分において増加しています。

図10 収入区分別年間売上高の構成比

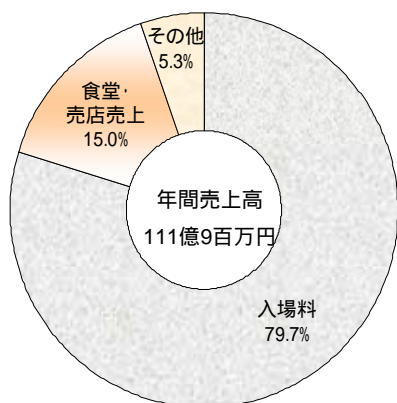


図11 収入区分別年間売上高及び前回比

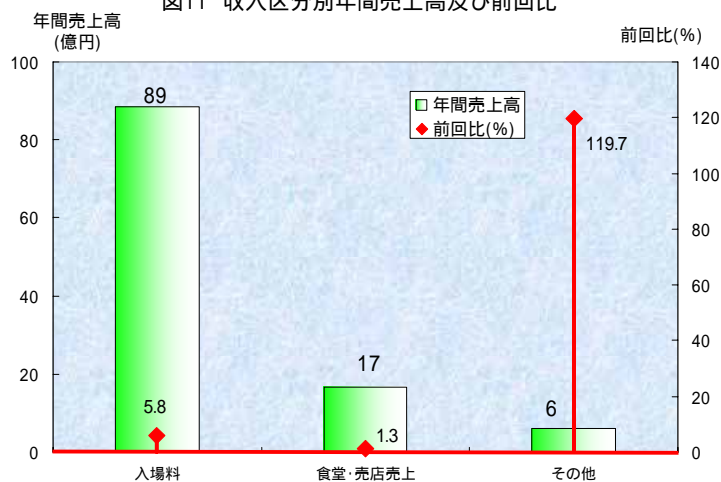


表4 収入区分別年間売上高

区 分	平成13年		平成16年		
	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	前回比 (%)
計	10,277	100.0	11,109	100.0	8.1
入場料収入	8,366	81.4	8,855	79.7	5.8
食堂・売店(直営)売上収入	1,642	16.0	1,664	15.0	1.3
その他の収入	269	2.6	591	5.3	119.7

(5) 入場者数及び上映本数

入場者数729万2062人、前回比8.0%の増加

入場者数

平成16年の映画館(スクリーン)の年間入場者数は729万2062人で、前回に対し53万9090人増加(前回比8.0%増)となりました。

【立地環境別】

年間入場者数を立地環境別にみると、シネマコンプレックス方式(注)が該当する「ショッピングセンターなどとの同居型」が530万9255人(構成比72.8%)と全体の7割超を占めています。

(注)シネマコンプレックス方式とは、一つの建物(施設)で複数のスクリーン(通常6以上)を設置し、かつ、入場券売場、入口、ロビー・売店、映写室等を集約化して共有する複合型映画館システムをいいます。

上映本数

平成16年の映画館(スクリーン)の年間上映本数は2765本で、種類ごとの内訳は「洋画」が1527本(構成比55.2%)、「邦画」が994本(同35.9%)、「アニメーション」が244本(同8.8%)となりました。

図12 立地環境別の入場者数の構成比

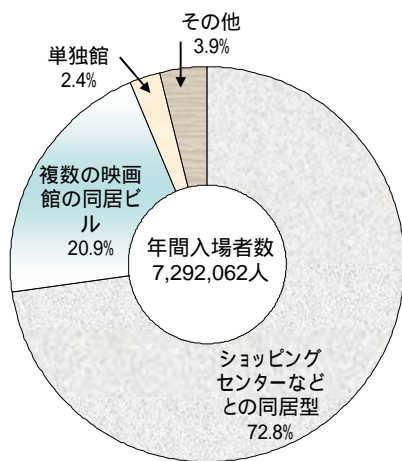


図13 種類別上映本数の構成比

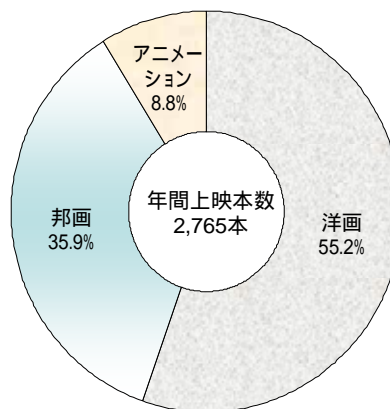


表5 立地環境別の入場者数及び上映本数

区 分	平成16年 入場者数		平成16年上映本数			
	人数 (人)	構成比 (%)	計 (本)	洋画 (本)	邦画 (本)	アニメーション (本)
計	7,292,062	100.0	2,765	1,527	994	244
単独館	174,681	2.4	583	320	259	4
複数の映画館の同居ビル	1,525,512	20.9	642	270	333	39
ショッピングセンターなどとの同居型	5,309,255	72.8	1,417	867	379	171
その他	282,614	3.9	123	70	23	30

(6) 都道府県別の状況

年間売上高を都道府県別にみると、福岡県は111億9百万円(1映画館(スクリーン)当たりの年間売上高は79百万円)と全国の4.9%を占めています。

図14 スクリーン(映画館)数の構成比

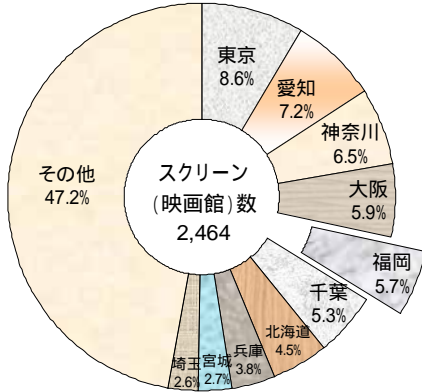


図15 就業者数の構成比

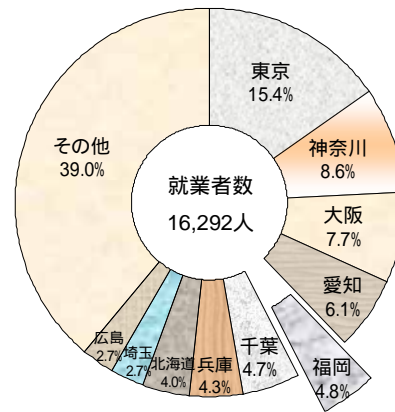


図16 年間売上高の構成比

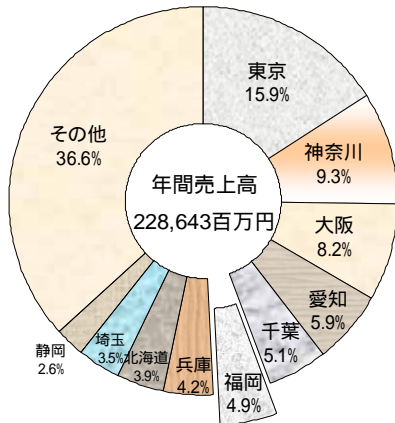


図17 年間延べ入場者数の構成比

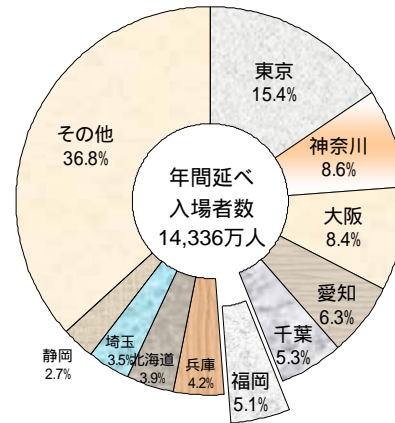


表6 都道府県別の状況(上位10都道府県)

順位	スクリーン(映画館)数	就業者数(人)	年間売上高(百万円)	年間延べ入場者数(人)
	全国計 2,464 (100.0%)	全国計 16,292 (100.0%)	全国計 228,643 (100.0%)	全国計 143,357,414 (100.0%)
1	東京 211 (8.6%)	東京 2,508 (15.4%)	東京 36,283 (15.9%)	東京 22,110,783 (15.4%)
2	愛知 178 (7.2%)	神奈川 1,408 (8.6%)	神奈川 21,308 (9.3%)	神奈川 12,293,756 (8.6%)
3	神奈川 161 (6.5%)	大阪 1,256 (7.7%)	大阪 18,725 (8.2%)	大阪 12,011,204 (8.4%)
4	大阪 145 (5.9%)	愛知 987 (6.1%)	愛知 13,569 (5.9%)	愛知 8,970,301 (6.3%)
5	福岡 141 (5.7%)	福岡 783 (4.8%)	千葉 11,609 (5.1%)	千葉 7,541,781 (5.3%)
6	千葉 130 (5.3%)	千葉 763 (4.7%)	福岡 11,109 (4.9%)	福岡 7,292,062 (5.1%)
7	北海道 112 (4.5%)	兵庫 700 (4.3%)	兵庫 9,654 (4.2%)	兵庫 5,954,065 (4.2%)
8	兵庫 94 (3.8%)	北海道 657 (4.0%)	北海道 8,824 (3.9%)	北海道 5,591,409 (3.9%)
9	宮城 66 (2.7%)	埼玉 447 (2.7%)	埼玉 7,973 (3.5%)	埼玉 4,957,775 (3.5%)
10	埼玉 63 (2.6%)	広島 434 (2.7%)	静岡 6,007 (2.6%)	静岡 3,926,545 (2.7%)

()内の数値は、構成比を示しています。